

## 2. J-Debit 導入事例の紹介

今号は、情報処理センター様のJ-Debit普及への取り組み事例を掲載します。



NTTデータ INFOX-NET様

協議会発足当初より、独自にJ-Debit普及に力を入られているNTTデータ様。同社の運営する情報処理センターINFOX-NETでは、平成11年10月にJ-Debitの取り扱いを開始し、現在までINFOX端末の設置台数も順調に増加してきました。

今回は、端末の設置推進やINFOX-NETでのサービス提供を通じて取り組むJ-Debitの普及について、株式会社NTTデータ カード決済商品企画担当の小島さんにお話を伺いました。

### ■ INFOX端末でJ-Debit決済

INFOX端末は同社の提供する決済端末で、平成11年10月にJ-Debitの取り扱いを開始しました。

INFOX端末には据置型とモバイル型があり、据置型は、レジスペースのある小売店や飲食店、各種学校、病院などで利用されています。サイズのスリム化やPOSとの連動など加盟店様のニーズを随時取り入れ、全国にDPE店舗を展開されている株式会社55ステーション様などに導入されるなど、設置台数は順調に増加しています。

また、モバイル型は据置型の設置が難しい業態に導入されており、例えばタクシーの乗車料金の支払い等、より多くの決済場面でJ-Debitが利用できるようになりました。



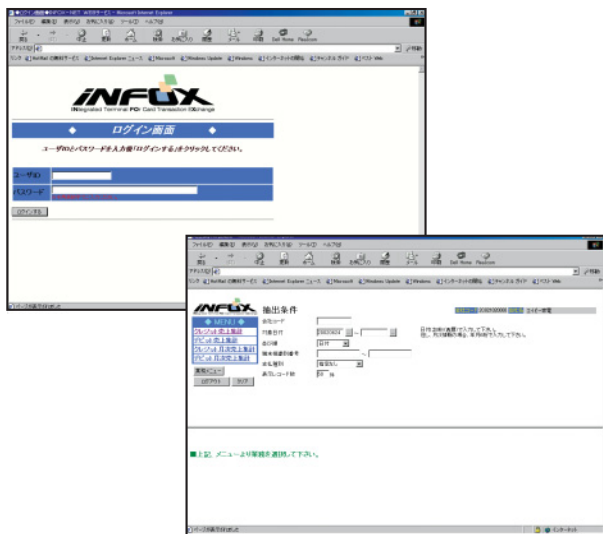
<INFOX端末>

### ■ NHK（日本放送協会）様の放送受信料の訪問集金業務に試行導入

平成15年7月には、NHK様の放送受信料の訪問集金業務にモバイル型INFOX端末が試行的に導入され、視聴者の方が放送受信料をJ-Debitで支払うことが可能となりました。訪問集金業務を行うNHKの「地域スタッフ」の方からは、「現金の持ち合わせがなかった方にデビットカードでお支払いいただけた」などの評価を受けられているとのこと。

小島さんは「現在は東京都内の一部での試行ですが、この試行でお客様のニーズを的確に把握、吸収し、J-Debitの普及により役立つサービスを提供できればと考えています」と更なる展開を目指していらっしゃいます。

### ■ 付加サービスも充実



<売上集計Web照会サービスの画面>

J-Debitの普及に伴い、導入する店舗や企業の事務作業の効率化に役立つサービスの開発、提供も積極的に行っています。

「INFOX-NET売上集計サービス」や「INFOX-NET売上集計拡張サービス」がそれ。

前者は、複数店舗をかかえる加盟店本部様に、全店舗分のデビットカード取引データ（金額、取引日時など）をまとめて提供するサービスで、加盟店本部様は、ファイル受信もしくはインターネット経由での照会によりデータの還元を受けることができます。

前出の株式会社55ステーション様も、全国の店舗分のデビットカード取引データを一元的に管理するために利用されています。

また後者は、それに加えてINFOX端末から入力された加盟店様の独自情報も還元するサービスで、損害保険会社様などに利用